え、地球上の天然けである。とはい

を一歩前進したわいて、人生の旅路

新年に思う

ることと思う。ともあれ、ところに、大きい意義があ をもつて更に一歩を進める 永遠の未来に続く時の流れ を機として無限の過去から ことは勿論であるが、これ

近代社会には潤滑油が不足 に困つたものだ。要するに る者さえ出てくる。まこと 自己の欲望を達しようとす る。ひいては暴力をもつて に明け暮れている昨今であ と叫ぶ。中央の諸問題から

に一期を画して、

清新の気

あふれ、希望に輝 気分になる。そして期待に に思われ、一際潑溂とした 新しい光に満ちているよう 月を迎えた。日の出さえ、 になつては紅葉する。春夏

 $\Theta$ 

それは一年の計を立て、 れたものであろう。

祝

即時断行とい

て、この辺に年の始をおかあるいは農事の忙閑を考え

尖鋭化している。右でなけ

最近の世相はあまりにも

れば左、赤でなければ白、

が身につける最も重要なる えての良識こそ現代社会人 ではない。相手の立場を考 く思われてはたまつたもの を近代人の条件の一つの如

を迎え入れることによつて、

ある。多分宗教なものか、

の始を定めてもよいわけでとしているので、どこに年 現象は、ほぼ一ヶ年を週期

かっ つて、

しばらくは青年の心にかえ

佐

藤

善

次

郎

法の精神にも通ず 養である、更に遵 れは人間相互のエ チケットであり教 しているのだ。そ

新年を祝おうではな

言葉や文字を使用すること るものである。斗争という



# 年頭の御挨拶

町 長 半 沢 殷

化の水準を高めることを目標とする統合設計青写真であるのであります 譲し、十分なる審議により立派な結論を得たいと考えて居ります。要は、国見町の特性あります。これは他日、町内各層有能の士をもつて組織されたる、新町建設審議会に附 の五周年記念式典に際して申上げましたが、この際更に想を新にし、画竜点睛の意気を を基礎とし、地域全体について有機的なる開発と合理的な経営により、 町建設のための基礎調査と、今後十ケ年の基本計画並びに五ヶ年の実施計画を策定中で もつて、新しい国見町の町づくりの構想をたてることの必要を感じ、 さきに、国見町合併計画による大半の事業が遂行されましたことは、去る十一月三日 町民各位に御報告し、謝意を表したいと存じます 慶び申上げ、 九五九年の新春を迎え、 一併せて一層の御多幸をお祈り致します。年の新春を迎え、謹んで皆様の御繁栄をお いわゆる国見町新 住民の所得と文

青風の粉町の運像にないなし の日大日 定知後一 以衣你す 半 澤 展海 影状

しの程を御願い申上けます。

有為転変の世の中とはい

い事をする為のものである

町村政に至るまで、

斗争

春が来て花が咲き、秋 めぐりめぐつて又正

. ことは、過般、自治庁長官より、地方自治確立伸展に貢献 きものと信じ、厚く感謝の意を表する次第であります。 これはもちろん、一万五千町民各位の御協力と御支援御指 の一段の進展であると信じますので、何分よろしく御引廻て去る五日就任致しました。毛利君の就任は、国見町町政 議会において御承認を得ました毛利久君が国見町助役とし をかけておつたこともあると存じますが、去る十二月の町 長い間町政執行の面にも、事務の能率の面にも、御不自由 導のたまものでありまして、その喜びは町民各位と頒つべ し、新町建設の功労者として表彰されたことであります。 最後に、助役選任の件について一言御願い申上げます。

日程第三

日程第一 れ、会期一日、議案次の通り を求める件 助役選任に同意

営されてきたが、今回助役の設置なしに町政が運国見町発足以来五ヶ年助

保

{定を求める件」} (「助役選任に同) 定例**町**議会 十二月十六日国見 で原案通り可決された。 費から組替のための更正 国保記念式典費等を予備

代の総額二三七、 事請負者に対する記念品 による工事費の追加と工 よつて消火栓三ヶ所増加 歳入歳出追加更正予算 般会計からの繰入金に

日程第二 昭和三十三年度 国見町国民健康保険特別 十二月十四日挙行された 会計歲入歲出更正予算 月一日より就任された。

国見町簡易水道特別会計 昭和三十三年度

開き、

おに届けられることになつて 入学前に健康診断をすること

になり、近くその通知が保護 学校保健法の規定に従つて、 **尙今年からは、新しくできた** 

断を受けられるようお願いし

子供のか 七〇名の 遊戯会を

きは、近くの学校か又は教育 ぎても通知が届かなかつたと りながら、一月二十五日を過 ます。今年の入学予定者であ

委員会に申し出て下さい

○、九五一円の追加更正額操作等の為の総額一四増による国保繰出金の減 節保育所建物改築費增、

日程第四 国見町歳入歳出追加更正 円追加で原案通り可決さ 昭和三十三年度

保育所のクリスマス

大木戸 森江野

H

枝(梁川、国見合せて)

秃

所では、

藤田保育

の歳入増加によつて助役 科用図書給与費補助金等 地の潰地代、 新国道建設による役場敷 設置による人件費増、季 義務教育教

で原案通り可決された。 簡易水道特別会計繰出金

鈴木 美

### 議会だより

佐 藤 善次郎

# 発行人

# 宇佐美印刷所

[第16号]

昭和34年1月15日発行

売 国見町公民舘 発行所

### 案通り同意され、本年一四才大字光明寺) 氏が原 役選任につき毛利久(五 御 成人おめでとう

開かれる。 人の日に藤田小学校礼法室で が大なるが故に、僕は単刀直は、例年通り一月十五日、成 されるからである。その期待た青年男女二六五名の成人式 され、進展されることを期待町内居住の満二十 才に達し われわれオトナの社会が浄化 祝福される若人た

だき、午后一時より五グルー婦人会心づくしの昼食をいた 者代表の感想発表を終つて、 川朝夫氏の講演をきき、成人 人の歌をうたつて一応閉式、 祝辞、成人者総代の答辞、 ブにわかれて親子座談会をや 国歌斉唱、町長の式辞につい つて解散する。 式は午前九時開始、全員で一 群、成人者総代の答辞、成、公民舘長をはじめ来賓の 成人証書、記念品が渡さ

大大木村 森江野 藤小 の通りで昨年より一七名少い尙本年の地区別成人者数は次 地区 田坂 枝 八 二二二〇三〇 男 一五一二六五二七八 女 計 昨年 く伸ひるかっ

### 新 成 人を迎える (鈴木 生

も、心からおめでとうを単ドれわれオトナの社会に対して もつて成人となられた諸君の 他人の重荷にはケロリとしてもつて成人となられた諸君の 他人の重荷にはケロリとして たい。純粋雪のような君たち 然白な君たちを迎え入れるわ ためにはもちろん、更に清純

| 弾力性に富む、 君自身の流儀 に解釈し、受取つてもらいた 入に希望を述べ、柔軟にして

## ₩ 新参者の心を失 うな

朝夫氏の講演をきき、成人 わからないでまごまでしていいで福島民報編集局次長塩 うまい。新入社員がようすが かるがるしく自己免許をしな 考えがいちばん正しい。自分の おえがいちばん正しい。自分の おっぱん正しいなどと 通つている。おれがおれがと らないから将来どんなに大き ちいさい現在の自分にこだわ でいて、こころの骨にシンがい。あの桑軟な弾力性。それ らない。だれにでも教えをこ るっ いつまでも新参者の心を失 知つたふりしない。きど

まねしない世界を猿

び 力や、組織力や、すべて長いよれてないくせ。金力や、縄人と協力しりつとぶかく、他人と協力しりないるくせ。ひとりよがりで、一大 数えあげればきりがないが、ものの前に卑屈となるくせ。 水で平気なくせ。自分の重荷 考えないくせ。時間を守らないくつもある。他人の迷惑を おとなの世界に妙なくせが あいを身につけながら、みずう、チーム・ワークでの磨き りかただ。話しあい学習といする。それが民主的人格のあ し、自分で責任をもつて実行自分で考え、自分で判断 からまなび、みずから考えよ なる。 四 自分で考える

ねしないで頂きたい。

こころの計りかたが大きく ものさしが大きくなると、 に帰つたような気がする。ョークにつくと、もう日本 き、大西洋を渡つてニュー ロンドンから東京に帰ると はすぐだとおもう。 大阪まで来ると、もう東京 九州から東京に帰るとき、 は近いぞとおもう。 静岡まで米ると、 大阪から東京に帰るとき、 ものさしを大きく もう東京 |員の昼夜をわかたぬ努力と、 れた。しかし不撓不屈の役職

標を突破すること四百六十三十日十二月三十日午后六時、目日十二月三十日午后六時、目標の結束は遂に実を結び、目標のは、日間の水ももらさ を次のように語つた。 黒様のような笑顔でその喜び のであつた。酒井組合長は大あげ、関係者一同ホッとした 万余の好成績をもつて凱歌を

千万貯蓄達成の感激の中か「われわれ役職員は今、三 であるかを身を以つて味う 協同の力がいかに偉大

小藤 学区名

坂田 男 三系

一三〇組

せっ人間を可かつこと。しせは、人間を大切にしないく 界中の青年が、みんな目的の 温く生きるというごとだ。世 権は、みんなで手をつないで んよくない悪癖だとおもう。 こればおとなの世界のいちば 目的として尊重しないこと。 や道具と見るだけで、 主人公として尊厳で貴重なの いちばんまねてほしくないく 新成人のみごとな道徳的特 人間を

5

①政治を他人ごととおもうく いいたくないが仕方ない。 政治についての悪いくせ、 た。 ②選挙を喧嘩とおもうくせっ

貯蓄目標三千万見事突破

九合五勺、金四万四千八百二

コ顔の大木戸農協

③反対意見に耳をかさないく こんな悪いくせは、どうかま し、目標の年内完遂は危ぶま で 被害によつて一時大頓坐を来 号並に二十二号台風による米 一の下に熱烈な貯蓄運動を展開 え通り、晩秋蚕の不作、二十一 してきた。好事魔多しのたと 5 意欲の高揚にありとの信念か 設の基礎は町民の自力更生に を立て、 あり、自力更生の要件は貯蓄 大木戸農協では、新農村建 昨夏以来三千万貯蓄目標 酒井組合長陣頭指揮

みる。 達成集績 (内定期貯金) 貯蓄目標 一、二三二万円

新入生の保護者へお願い 入学予定者に対し 健康診断実施 一日皆貯金実績一〇六万円前年同期純増加額 貯金袋平均 (十二月二十八日実施) 四、一三六円

にくら四三名少ない。 どもの数は次の通りで、 今年の四月小学校に入る子 女計(昨年) 云 哭 長 三 五景 昨年 死出亡生 (昭和三三年)

尚実績を物語る数字をあげて 援と御協力を御願します」 固めた次第です。今後更に 農協発展のため皆様の御支 かざるよう新たなる決意を せられた期待と信頼にそむ 大さを痛感し、組合員の寄 この喜びの中にも責任の重 三、四六三万円 十五円の多額のぼり、関係者

# (三四、一、

坂 二、四五七田四、八五八 人口 三四四九戸,八六五五数

わが町の婚姻は? 一○二 九二 一九四 六六 六三 一二九 野 女 計 (昭和三三年)

人口と戸数は?わが町の

をは、少女雑誌四十四冊、ノーなは絵本三百余冊、鉛筆五十六番に大木戸中学校の生徒会からな、少女雑誌四十四冊、ノー 来た。このあたたかい贈り物五百十一円を添えて送られてつの箱にぎつしりつめ、現金 ることになつている。 てこれを旧蔵末町内に配分す については早速協議会を開い ト三十七冊、辞典十二冊を三

一現在)

出生と死亡は?

-37-

れた浄財は、米一石九斗二升 運動に町内各部落から集めら 昨年末行われた歳末助けあい 研修所

月二七日 后一 大枝中

暮したっ を楽しく

「写真」

大木戸中生徒会の美挙 一月二八日 前九

酒井先生(宮城農 大講演 会

ちいさん

青年研修所落成記念

(急告)

物をやつ から贈り ンタのお を公開し

たり、サ や劇など 戯や唱歌 ◇松のことは松にならえ

芭 蕉

空と大地でできている 人の住んでる世の中は

のつて遠くへとんでゆき かぞえきれない世の中だ こうしていくらかぞえても

一寸人工衛星に

鳩と蛇とが住んでいる

人と犬とが住んでいる

いろんな道具のならんでる

◆不合理を叫る

青年たちの意見

じぶんをみがいてゆくべきだ この人生のまん中で やつばりおいらはごたくくと **\** 

松の木先生

春 日

佑

幸

この人間にきくがよい この人間の世の中が らちのあく日は来なかろう

さらにじぶんにきくがよい しりたいならばあくまでも 生学校…

かもめににしんをきくような 酒は酒屋できくがよい もちはもち屋できくがよい 竹のことなら竹にきけ 松のことなら松にきけ

**好と好がながめてる** 親と子供がくらしてるわたしとあなたがくらしてる

れてから、今険法が施行さ 迎えた。 年で二十年を

その目的は**着** 位の御理解と 至り、今や県々達成するに 下一という折 健康保険も合

事は光栄の極 表彰を受けた 年記念式典に 於て知事より の国保二十周 紙付で先般県

長、町議会議長、始め県国保連合会 医師代表宮川医師

表として藤田名和胖氏より 辞を受けた。最后に受賞者代 られたい」との祝 々事業進展に努め の賜であり今后益 「我々は唯その責を全うした

国

百五十名参会のもとに幕をあ

記念式典が催うされた。

この日県知事を始め町外来

町内各種団体役員等約三

徳江喜三郎、寺島金治、甘雄、八巻治作、宍戸新五郎、 トラ、遠藤助太郎、大津利高橋宗一、佐藤只之、蓬田 造、斎藤要吉、佐藤義雄、 上善兵工、 佐藤庄吉、 佐藤村

結婚式

である。

・ も兼ねて去る十二月十四日午 ・ 与された厚生大臣賞の披露を ー は当町公衆衛生事業に対し授 ・ 披露し、又先・ 於て国民健康保険法二十周年 前十時より藤田小学校講堂に この表彰を は町民各位の努力 に今日の栄誉ある より「国見町国保

事は开顔の至りであり、終生に過ぎず、今日表彰を受けた

各位の絶大なる御理解、御協現在の段階に進んだのは町民け、町長より「国見町国保が

力の賜であり心より謝意を表

千年万年まつたとて 忘れることの出来ぬ喜びであ 右と左がにらんでる西と東がにらんでる

で事表が年の紙下至々を御位併生 河年れ 184 ちょうきに記している。

当町の国民 国保運営を置くないで、優良被保険者、優良納税組合、 と健康国見町の建設に努めた 等に表彰状、感謝状をそれぞ 長音頭のもとに万才三唱を式まない」との謝辞があり、町

式典の幕を閉じた。 場一ばいに響かせて盛会裏に ○優良被保険者表彰 けた者次の通り 名和胖、 表彰状、感謝状の授与を受 大槻喜三郎、

村源市、 トヨ、秦勇、菊地幸市、 佐藤栄蔵、大隈順

×旧正月だなんて休んでいる て休むに都合よい。 ない。旧正月には雪が降つがよくて休むにはもつたい て気がもめる。 と春先急にいそがしくなつ

○優良納税貯蓄組合表彰 佐藤幸七(以上三十名) 宮町南納税貯蓄組合、石母 重松、玉手太郎、岩城喜逸、 松浦勇喜、松浦芳蔵、松田 繁三、長谷川正男、八島進、

新生活運動あれこれ

あ な

どちらに軍配

を?

…旧正廃止の話しあい記録

た

は

×いや、機械化した今日、仕 の仕事はどこできまつたと 事は早くきめられる。百姓 正月をしたい いうことがない。早く正月 をきめてゆつくり だ。メートル法一本になつ×それは郷愁みたい なもの た今日、こよみも一本化す やはり旧暦によいところが つてみたが永続きしない。

あるんだな。

○それでは旧暦一本建にした らどうだ。先祖代々これで べきだ。

×季節に合つて農作業との関 旧暦だベナー。 いる時代だ。月にいつたら トをぶつばなしてさわいで 暮してきたのだ。月ロケッ

係も深いのは新暦だ。第

次の箭陸地はデンマークの一たつた北極廻りの飛行機の一

まわる時代だ。羽田空港を トが人工惑星になつて飛び も改革も必要だ。月ロケツ ためには、ある程度の破壊 ぶちこわす気か。

: 国

見

町

○我々農家では仕事 | ○これまで何回か叫ばれてや 争の的になつた点を、対話風に記者が構成し この記事は最近はやりの話しあい学習で、論

×共に複数である。

○新正月は雪も降らず、天気 くりやつた方がよい。 をやつて、春の仕事をゆつ

森山第一同、森山第二同、田東同、内谷東同、鳥取同、

感謝状授与者 久外委員十三名 森江野農協、大木戸農協 藤田第一農協、

おごそかに

は そして簡素に…… (-)

見を私なりにまとめて中間報 うでしよう。 お寄せいただいた資料やご意 く私の場合もそうなつてしま論とまではまいりませんが、 なつてしまうのです。おそら論とまではまいりませんが、 なつてしまうのです。おそら 団体や一般の方々の非常な関級や青年学級をはじめ、各種 話しあい学習を展開していた心を高め、いたる所で活潑な だきましたこと、編集者とし 告といたします。尚今後共引 つたせいか、各方部の婦人学 ところ結婚シーズンとかち合 結婚式の話題をのせた 先月号「くにみ」に | 今行われている昔風な結婚式 簡素化して、しかも当人達を人は一人もいない。 できれば 誰かの場合になると、やつぱ 青年たちの集いの中でなされ ている。こういう話はいつも 中心とした式にしたいと考え ている。けれどもいざ仲間の そう考えていてなぜいよ が、極めて有効であること 学ま とが、極めて有効であること 学 どの視聴覚教材を利用するこ画、幻灯、ラジオ、テレデな学校教育や社会教育に、映 からこそ金をかけて式をする一

映

、写機購入に御協力願

V ます

続き話しあいをつづけ、より よい結論に達せられるようお 青年たちの意見を総合する て、「犬ころ一匹もらつたつなのですが、本家のボスが来は簡素化におそるおそる賛成 いよの時はダメなんですか。 まうんです。A君の場合は親 ガンは。親たちが反対してし 「犬ころ一匹もらつたつ 親たちですねえ、大きな 非常に不自由をして、学校やめ、学校でも、公民館でも、映写機を使用しておりますた す。今、進んだ町村では、一めに応じ得ない有様でありま があつても、ほとんどその求 |各種団体、部落などから要望

【写真】式場風景と保健施設 光明寺同、貝田南同、原町同 国見町国保運営委員長大波 活動の一つ乳児検診 小坂農協

> ジャンです。 ♦外剛内柔、メンツに とらわれる父親

を責めたりするが、あいつらと今どきの若い者は、わしら――ホウケン的、ホウケン的 い。親にすれば子供が可愛いは世の中のしきたりを知らな て五十代の父親たちの意見を 中」のある寄合いの席に入つ そこでわたくしは、丁度「講 金をかけるからいいともいい らいいというもんじやない。いでしよう。金をかけないか し結婚式というのは「経済」 たくないと思いますよ。しか借りてまであんなことはやり からばかり考えるもんじやな

たたいてみた。

| 男―三男はとてもできないが 生に一度。それも長男だけ位 ませんがね。いわば結婚は一

| んでいます。わが国見町でも | 校又は一舘に一台を目標に進 各校に一台の映写機を備え、 りますが、

内寄附募集額 十六万円映写機一台価格二十六万円 目標期日一月中に募金完了 (大体赤い羽根募金同額) 青年団、部落会、消防 社会福祉協議会、青少 団、農研団体、農協、 PTA、学校、 、婦人会

る様になるのが理想ですが、 郡又は県などから借りてきて 学校の教科科目や社会教育の

備えようということになり、 まずさしあたり町で一台だけ (無料です)学習に利用でき 学習目的に応じたフイルムを

出費御多端の折柄、誠に恐入りの結果、町民各位の御客附をが、の結果、町民各位の御客附をが、の結果、町民各位の御客附をが、の結果、町民各位の御客附をが、

よう紙上をもつて御願申上げら、何分の御協力を賜りますもなくてならない道具ですか もちろん、私達の社会教育に 子供達の教育には

かむ外ない。 の幸福は自分たちの手でつ を改めるに誰に遠慮や気が るだろう。自分たち

が国見町がよくもなり、 ように使うかによって、 なる。それだけの力をどの ば町会議員二人出せる力に 迎える。君たちが結束すれ 一百六十余人の新成人を わわ

○成人式に思う

×古いものでも、よいところ ○じやまになるものでもない しかし、生活に不便なことは尊重もし、残しもする。 夜であつたなんどというこ があるぞ。盆の十六日に闇出る。旧暦は便利なところ ろう。十五夜といえばきまし、今更捨てることもなか なつているはずだよ。旧暦など明治初年に追放に とはおよそナンセンスだ。 つてまんまるいお月さまが ○年中十五時間労働をしてい いだ。月は新旧二回やりたいくらした、一本化どころか、正 のだ。一本化どころか、正らいゆつくり楽しみたいも るわれ~~農民は、冬分ぐ う三軒両隣だ。 ツパやアメリカはいわば向 コペンハーゲンだ。ヨーロ

〇若い者は民主主義だの、 われの先祖から長い間かゝ 由主義だのといつて、われ のといって、われ は早くなおした方がよい。 二重生活は早くやめたい。 ○正月やお盆やお祭は、いわ ×正月など旦那様方には楽し お祭だの、廃止した方がよ 重労働ですよ。お正月だの ば信仰とレクリエーション 理だ、接待だといつて全く ども主婦にとつては、 いかも知れないが、わたし とおもうねっ

▽記者日く

こつちにお鉢

ことではなく、われかれの決められたという表面的な

本国民に課せられた民主化

れたことである。 をいともすなおに、実行さ

〇人工惑星に思う

ちの意志によつて配遇者をての修養につとめられ、自 十五才の今日まで人間とし

理由は、ただ単に殿下が一 送り、無上の敬意を呈する 皇太子さまに無限の讚辞を

×公民館あたりで音頭をと ○それではみんなで申合せて

皆さまの要望にこたえて、 だ。われ/~商工業者は、 の、簡素化などもつての外時にやるべきだ。一本化だ で、新でも旧でも都合よいがよいし、それなくの立場 出来るだけはでにやつた方 のための年中行事だから、 館、なにボヤく、している ぐずくへしていると(公民 が廻つて来た様だ。 んだ)と責任違求されそう

×新しい文化をつくりあげる

つて築きあげてきた文化を

大いにサービスするつもり のしやすい時だ。来年あた 月の中間で、<br />
今が一番討論 を抱えて引上げた。新旧正 になつたので、早々録音機

をつきぬけて、太陽を中心のコースを)通り、月のそば

なした月ロケツトは、予定新年早早、ソ連でぶつば

|て人間様の結婚式だ。バカヤ|んです。「なんだ、ショつた| |相手の家がのぞまなければオ | 嫁も可愛そうでしよう。| たどちらか一方がのぞんでも | や、親ばかりでなく、息 や、親ばかりでなく、息子もれた結婚式」といわれたんじ たのいう「新しい結婚」をのぞ それに、かりにわしがあな 話合つていたゞきたい」 り結論が出るよう、うんと

ロウが」というわけです。ま

うとわしだつて、なにも金を ほんとうのことをい といいますよっ メです。ホンキも馬鹿のうち 世の中全体がそうならにあず んだつてとてもダメですな。

すね。 ばあなたもやるというわけで -すると世の中全体がやれ

で、泣く泣くやつている始来 ですから。 んです。ただ世間体があるん ハデな式なんてやりたくない つて、内心から金をかけて、 ますよ。なあに、どこの親だ もちろんですよ。歓迎し

廻りの、何と、不合理や非科 ガや小説ではなくなつた。 学的なことの多いことか。 かけた字宙戦争が起るとい ろう。火星や木星の争奪を ○新生活運動に思う お正月の一本化とか、結

ことでありながら、 社会のみんなが望んでいる 婚の合理化ということは、 いざ実

在わわれわれの生活に不便なつたのであるならば、現ための申合せが風俗習慣と や不利をあたえる風俗習慣 も、習俗の改善も、個人の力 行となると、みんなしりご 人間の生活をよりよくする ではなかなかむずかしい。 みしてしまう。迷信の打破

(以下次号)

-38-

何とすばらしい科学の力だれ地球の仲間入りをした。

とした軌道にのり、われわ

集 後 記

ら、未来の皇后となる人がおれわれと同格の民間人かわれわばと同格の民間人かいわば ○皇太子さま 編 おめでとう

○いろ~~土地の慣習や家庭

めいく 好きにやればよ

×人心の統一、一体性の確立

でいる。

という点からもぜひ新暦に

本化すべきだ。

×いや、こういうことは地域

てやらなければだめだ。社会みんなで、足並そろえ

えらばれた。われわれが、

未来の皇后となる人が